

令和6年3月7日 14時00分
姫路河川国道事務所

揖保川「豊堤」の歴史・文化を継承 ～豊堤紹介看板及び案内パネルを設置します～

揖保川の豊堤は、眺望への配慮など住民の意見が反映された特殊堤であり、住民の防災意識の高さが結実した貴重な現役の土木遺産として、令和4年度土木学会選奨土木遺産に選出されています。土木遺産選出を受けて、豊堤の概要、効果を紹介する看板をたつの市営駐車場(下川原)の敷地内に設置、また駐車場前の豊堤には案内パネルを設置します。設置に伴い、豊堤看板のお披露目式を執り行います。

揖保川では昭和20年代に洪水が頻発したことを受け、「防災は皆で行うもの」という意識のもと、景観と防災を両立した豊堤が昭和30年代に整備されました。揖保川豊堤の歴史と文化を継承していくことで、住民一人ひとりが水災害を自分事と考えるきっかけとなることを期待し、豊堤紹介看板及び案内パネルを設置します。それに伴い、豊堤紹介看板及び案内パネルのお披露目式を執り行います。

記

- 開催日時 令和6年3月11日(月) 10:00～10:30(予定)
- お披露目式場所 たつの市営駐車場(下川原)
(住所:たつの市龍野町下川原 144 番地)
※雨天時:駐車場敷地内 下川原「蔵」
- 式次第及び参加者 別紙のとおり
- その他 取材を希望される方は、事前登録をお願いします。
3月8日(金)17時までにご連絡ください。

<取扱い> -

<配布場所> 兵庫県政記者クラブ、西播磨県民庁舎内記者室

<問い合わせ先> 国土交通省近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

- 副所長 きたがき ひろふみ 北垣 啓文 電話 079-282-8211(代表)
- 加古川・揖保川流域治水室 ながた よしゆき 永田 佳之

① ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/index.php> ①

② X(旧 Twitter) https://twitter.com/mlit_himeji

話そうはりま



豊堤看板 お披露目式 次第

日時：3月11日（月）10:00～10:30

場所：たつの市営駐車場（下川原）

1. 挨拶（姫路河川国道事務所長）
2. 豊堤紹介看板 お披露目
3. 豊堤看板、選奨土木遺産選出 概要説明
4. 豊堤案内パネル 紹介
5. 豊堤看板設置を受けて（たつの市長、たつの市観光協会会長）
6. 豊堤に関するこれまでの経験と今後の期待
7. 記念撮影

出席予定者

- ・たつの市長 やまもと 山本 みのる 実
- ・たつの市副市長 たなか 田中 とくみつ 徳光
- ・たつの市観光協会 会長 い ど 井戸 まさふみ 正文
- ・龍野ふるさとガイド 会長 やまもと 山本 ふじこ 富士子
- ・龍野地区連合自治会 会長 さなだ 真田 ただとし 忠敏
- ・龍野町下川原自治会 会長 こばやし 小林 みのる 實
- ・たつの市消防団 副団長 てらうち 寺内 ひろき 広樹
- ・姫路河川国道事務所長 いけだ 池田 だいすけ 大介

※次第は天候等の状況により変更になる可能性があります

○畳堤看板 お披露目式 会場案内

たつの市営駐車場（下川原）（住所：たつの市龍野町下川原 144 番地）

※雨天時：駐車場敷地内 下川原「蔵」

※お車でお越しの方へ：駐車場内に駐車スペースを用意しております。

※取材希望の方は事前登録をお願いします。当日受付は9時45分～現地で行います。



揖保川『畳堤』が土木遺産に選出されました！

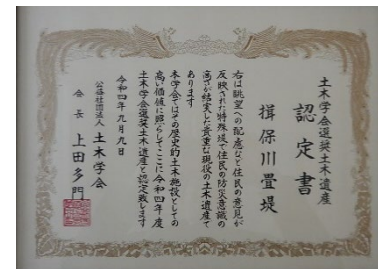
揖保川の畳堤は、眺望への配慮など住民の意見が反映された特殊堤であり、住民の防災意識の高さが結実した貴重な現役の土木遺産として、令和4年度土木学会選奨土木遺産に選出されました。



畳堤へ畳を設置している状況



畳堤を設置した状況



本内容については土木学会にて記者発表及び土木学会HPに掲載されています！

https://committees.jsce.or.jp/doboku_isan/

https://www.jsce.or.jp/contents/isan/files/2022_12.shtml



今回の土木学会選奨土木遺産の選出を通じて、畳堤の歴史と文化を継承していくことで、住民一人ひとりが水災害を自分事と考えるきっかけとなることを期待しています。

畳堤とは…

兵庫県西部を流れる日本有数の暴れ川として有名な揖保川の緊急時の防災対策として、約60年以上も前に考えられた特殊な堤防です。普通の土石・コンクリートなどでできた堤防とは違い、一見、橋の欄干のように見えるフレームが並び、川の景観を損ねません。住民の意見が反映された環境への配慮と、住民の防災自治の意識の高さが実を結んだ堤防といえます。

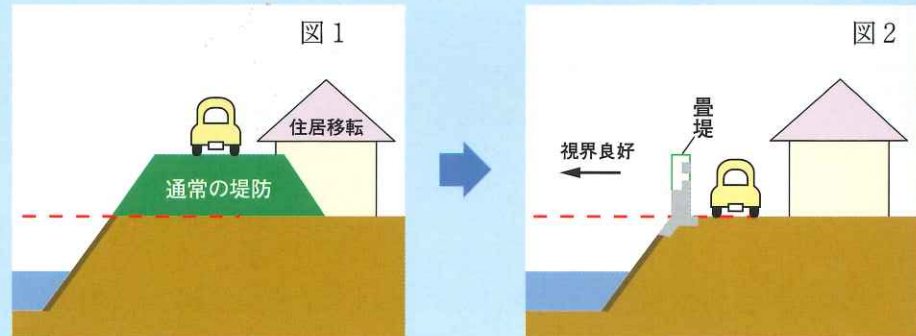
▶橋の欄干のように見える畳堤柱の溝に畳をはめ込めば、畳の「壁」に変身(たつの市)



◀空から見た揖保川(たつの市)

なぜ普通の堤防と違うのか？

底幅が広い台形型に土を盛ったのが一般的な堤防の形です(図1)。畳堤が造られた地域は川から住宅までの距離が大変短く、土手が造れないのでコンクリート壁を堤防の上に造りました。このような堤防を特殊堤といいます。特殊堤の場合通常は、コンクリート壁になるところを揖保川では、畳を差し込む柱だけの欄干のような堤防です。地域の自治意識は高く、万一の際は住民の手で畳を持ち寄り、堤として機能させます(図2)。



※赤色の破線は洪水の危険ラインであるハイウォーターレベルを示しています

もし畳堤がコンクリートを立ち上げただけの堤防だったら…?



揖保川の美しい景観は損なわれ、暗く圧迫感を感じる堤防になっていたことがシミュレーション写真を見るとよく分かります



畳堤になっただいさつ

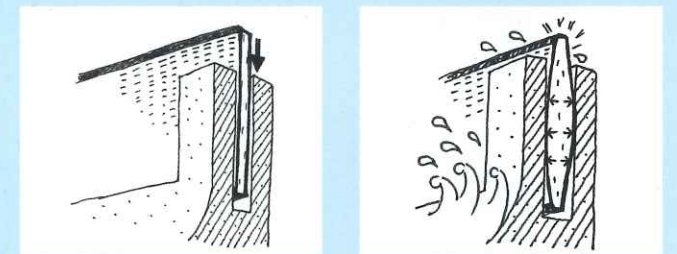
昭和22年(1947)、龍野市龍野町長末広氏より特殊堤(パラベット)設置の提案が出されました。当時、姫路工事事務所長だった玉井正彰氏、工事主任の藤原玉造氏らが長良川の畳堤を見学するなどして、特殊堤にすることになりました。当初は壁のような特殊堤でしたが「ふだんは揖保川が眺められるように柱だけにしてほしい。防災はみんなでやるもの、洪水の時は自分たちも畳を入れて協力する」という周辺住民らのたつての要望により、現在の畳堤となりました。



こんなにある畳堤の特徴

- ・地域住民と一体となった防災活動が基本
- ・畳はどこ家庭にもあるため、すぐ用意できる※)
- ・畳は水分を含むと膨張し、強度を増す
- ・土のうを積むより手軽
- ・平常時は景観が楽しめる

※)建設当時、畳は本間サイズだが、現在の畳は小さい団地サイズが主流なため畳の手配が困難になっている。たつの市水防倉庫には、本間サイズを保管している。



暴れ川 揖保川



兵庫県宍粟市山崎町 旧神河橋付近

揖保川は、古くから災害の記録が多く、特に梅雨の時期や台風の際には頻りに大水害が発生していました。中でも、昭和20年の7月から10月にかけては何度も堤防が決壊し、濁流が民家や田畑を飲み込む被害が続出。これらの被害により、水害防止の堤防への声が高まり、堤防が設置されることになったのです。

流域マップ、河川概要



兵庫県の西部に位置する揖保川は、兵庫県宍粟市一宮町の藤無山に源を発し、途中引原川、栗栖川、林田川等を合わせながら宍粟市、たつの市等を貫流し河口付近で中川を分派して瀬戸内海播磨灘に注ぐ幹川流路延長約70kmの河川。流域は3市2町にまたがっており、その面積は約810km²です。

河川概要	
流域面積	810km ² (山地660km ² 、平地150km ²)
流路延長	幹川170km
計画高水流量	基準地点：龍野 基準高水流量：3900km ³ /s 計画高水流量：3300km ³ /s
管理区間	姫路河川国道事務所 揖保川46.92km その他支川119.76km 合計66.68km
水源	兵庫県宍粟市一宮町藤無山
流域市町	宍粟市・神河町・たつの市・太子町・姫路市

揖保川の豊堤のある箇所



畳堤の現在

水害時には自分たちで畳を入れるという労力をかけてでも「安心と安全は自分たちで作るもの」「ふるさとの川を見て暮らしたい」そんな思いで作られたのが畳堤です。幸いにもこれまで利用されたことはありませんでしたが、万一の水害に備えるために、沿川の住民が主体となって、実地訓練が行われています。先人の知恵の満ちた畳堤はさまざまなテレビニュースや新聞紙上で話題を集めました。



畳設置完了時の写真

新聞等で紹介された畳堤



住民初参加、揖保川で水防訓練



畳堤の運用確認
700mに31枚差し込み

揖保川沿いの住民らによる水防訓練が行われ、初めて設置された畳堤の運用確認が行われた。...

▲神戸新聞(平成22年8月30日)



畳堤訓練の様子

揖保川町



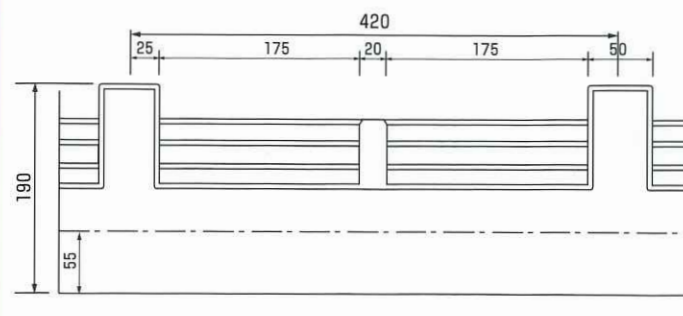
龍野町

畳堤の構造

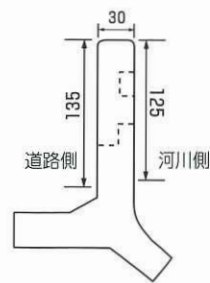
たつの市 右岸



正面図



側面図



美しく生まれ変わる畳堤

施工から50年以上が経過し、長年の雨風により表面劣化やひびわれ、剥離、それに伴う鉄筋腐食が多く見られるようになってきたため、平成13年～平成18年にかけて補修工事が実施されました。



1.崩れて畳を挿入できない箇所や鉄筋が露出している危険な箇所をチェック



3.モルタルやパテ材を塗って、表面の凸凹を滑らかに



2.表面の汚れを除去

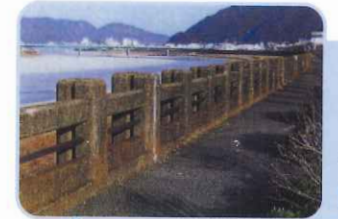


4.コンクリート劣化防止に炭素繊維シートを貼る



5.仕上げに耐久性を高める塗装をして工事完了

全国にある畳堤



岐阜市忠節橋から長良川上流1000m余の区域に設置されています。昭和15年頃完成
岐阜県



たつの市内の3箇所を設置されています。総延長は3100m余
兵庫県



昭和初期に造られた日本で一番古い畳堤。延岡市五瀬川の900mの区域に設置されています
宮崎県